

主要障がい者団体(精神障がい)との意見交換会で寄せられた意見

2011/7/4 実施

しりょう
資料1-3

意見分類	意見内容
分野1:理解促進	いろいろな人に、精神障がい当事者の体験談などを聞いてほしい。
分野1:理解促進	障がいのある人に対する理解促進のためには、障がい当事者が体験談などを学校で語ってくるべきである。
分野2:生活支援	18歳未満でも日中一時支援を利用できるようにしてほしい。
分野2:生活支援	親が亡くなった後でも、本人をケアしてもらえるのかと心配である。
分野2:生活支援	学習障がいにおいて、学校教育と福祉が連動しなければならない。普通学級での支援や体制整備の拡充をお願いしたい。
分野2:生活支援	各相談支援事業所に地域活動支援センターを併設して、通所もできて相談できるところが身近にあればありがたい。
分野2:生活支援	行政と事業者との関係が深まるように、行政が事業所を巡回してコミュニケーションを図ってはどうか。
分野2:生活支援	サービスの自己決定のための支援ということが、最終的に自己責任につながっていくことに不安がある。
分野2:生活支援	事業者が安定的に運営できるように(従事者の待遇も含め)、事業者に対する情報提供や連携体制の充実を図ってほしい。これにより、サービスの質も向上すれば、本人や家族も安心できる。

ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	せいしん か びょういんにゆういんかんじゃ たいいんそくしんじぎょう たいいんご す 精神科病院入院患者の退院促進事業において、退院後の住 まいの場の確保が難しい。保証人がいないために希望する部屋 に入れない場合がある。保証人について公的支援が必要になっ てくるのではないか。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	せいしんしょう しゃ ちいきせいかつ おく とうじしゃ あつ ばしょ 精神障がい者が地域生活を送るうえで、当事者が集まれる場 所が欲しい。(まちづくりセンターの部屋などを利用するなど。)
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	せいしんしょう しゃ たい こうつうじぎょうしゃ うんちんわりびきせいど てきよう 精神障がい者に対する交通事業者の運賃割引制度の適用に ついて働きかけてほしい。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	せいしんしょう しゃ たんしんしゃ しえいじゅうたく にゅうきょ 精神障がい者の単身者でも市営住宅に入居できるようにして ほしい。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	はったつしょう しゃ ちいき しえん たと にっちゅうかつ 発達障がい者が地域でくらすしていくための支援、例えば日中活 動の場などの充実が必要。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	はったつしょう かん しえん ほんにん たい しえん 発達障がいに関する支援について、本人に対する支援のほ か、両親に対する支援という視点も取り入れてほしい。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	はったつしょう しえん ひつよう 発達障がいについては、幼児期から生涯にわたるまで、途切 れることなく支援が必要である。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	はったつしょう こ なが きょういく くんれん 発達障がいの子どもたちには、長いスパンでの教育・訓練が 必要であるので、就労移行支援サービス等も少し長く利用できれ ばよい。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	ちから か たいいんそくしん すす ピアサポーターの力を借りて、退院促進を進めてほしい。
ぶんや 分野2：生活 しえん 支援	りょういく とく じゅうてん お じどう じゅうじつ 療育に特に重点を置いた児童デイサービスが充実してほし い。
ぶんや 分野3：保健・ いりよう 医療	じへいしょう ひと いりようじゅしん さい こんなん かいしゅう む けい 自閉症の人が医療受診する際の困難さの解消に向けて、啓 発、理解促進のためのDVDを作成し、医療関係者に対して観賞 前後のアンケート調査を実施しているグループもある。

ぶんや 分野3:保健・ いりょう 医療	せいしんしょう しゃ いりょうひ おお けいげん 精神障がい者は医療費が多くかかるため、軽減してほしい。
ぶんや 分野3:保健・ いりょう 医療	はったつしょう とっか せいしんかびょういん ひじょう すく せっち 発達障がい者に特化した精神科病院が非常に少ないので、設置 の促進をお願いしたい。
ぶんや 分野3:保健・ いりょう 医療	びょういんとう じゅしん ま にがて はったつしょう しゃ 病院等において受診まで待つことが苦手な発達障がい者の ために、待合室を分けてもらうなどの支援もあっていいかと思 う。
ぶんや 分野4:生活 かんきょう 環境	さいがいじ ちようきてき ひなんじよ かんが 災害時において、長期的な避難所についても考えていかなけれ ばならない。障がい種別や特性に応じて避難所を分けることも必 要。
ぶんや 分野5:教育・ いくせい 育成	はったつしょう しゃ たい ちい ころ ていねい しょう 発達障がい者に対して、小さい頃から丁寧に障がいにあった 療育を続けて、教育の場面、福祉の場面で連携して支援すること が必要。(地域の理解を求めるのみでは限界がある。)
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	いっぱんしゅうろう いこう どうじしゃ いちぶ さぎょうしょう こうちん 一般就労に移行できる当事者はごく一部。作業所等の工賃 アップの支援に力を入れてほしい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	きぎょう りかい けいぞく しゅうろう こんなん りかいそくし 企業の理解がなければ継続して就労することは困難。理解促 進に取り組んでほしい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	しゅうろうしゃしえんがた ちいきかつどうしえん かくじゅう ねが 就労者支援型の地域活動支援センターのさらなる拡充を願 いしたい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	しゅうろう かん きぎょう はったつしょう たい りかい ひじょう すく 就労に関して、企業の発達障がいに対する理解が非常に少な いため、理解促進をお願いしたい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	しゅうろう じゅうじつ きぎょう いけん い 就労について、ジョブコーチを充実し、企業に意見が言えるよう な権限があればよい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	しょう しゃこよう たい じよせいそち ぜいせい ゆうぐうそち いっ 障がい者雇用に対する助成措置、税制の優遇措置などの一 層の質の向上について働きかけてほしい。

ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	にゅうようじ しゅうがく きょういく こよう 乳幼児から就学、教育と雇用はそれぞれつながっているもの でなければならない。サービスの縦割りの弊害がないようお願い したい。
ぶんや 分野6:雇用・ しゅうろう 就労	はったつしょう しゃ しゅうろうし えん 発達障がい者の就労支援において、ジョブコーチが丁寧にフォ ローアップしてくれることが必要。
ぶんや 分野8:ス ぽーつ・ぶんか ポーツ・文化	せいしんしょう しゃ しょう しゃ 精神障がい者も障がい者スポーツ大会に組み入れてほしい。
ぜんばん 全般	せいしんしょう しゃほんにん 精神障がい者本人のニーズを聞いてほしい。本人の親とは ちが べつ 違った別なニーズがあるかと思う。